

## 営農型太陽光発電および発電所・供給先需要場所の概要

### 1. 営農型太陽光発電について

営農型太陽光発電は、農業を行いながらその地上に一定間隔の隙間をあげ設置した太陽光パネルで発電を行う仕組みで、農林水産省においても支援制度等が紹介されています。営農の維持や荒廃農地の再生による食料自給率の維持向上と、再エネ発電を同時に行うことができるだけでなく、昨今問題となっている再エネ開発のための森林伐採、盛り土・切り土などを伴わない、環境配慮型の再エネとして着目されています。

また今後、国内において太陽光発電所として利用できる土地が限られていく中で、追加性のある電源を効果的に確保できる仕組みであると言えます。



[営農型太陽光発電所実例写真（二本松営農ソーラー株式会社提供）]

### 2. 発電所概要

発電所所在地 (計6サイト)	茨城県筑西市桑山、群馬桐生市新里町、栃木県栃木市宮町、 埼玉県幸手市権現堂(2サイト) および千塚(合計:約10ha)
運転開始時期	2024年3月～2025年2月にかけて順次運転開始予定
合計設備容量	約12,000kW(DC)
収穫物	小麦・大豆 他(予定)

### 3. 供給先需要場所概要

対象施設	虎ノ門ヒルズ森タワー
所在地	東京都港区虎ノ門
延床面積	244,360m <sup>2</sup>

\*森ビルが運営管理する他物件へも順次供給予定